

今日のキーワード 中小企業月次景況観測(日本)

商工組合中央金庫(商工中金)が毎月発表する中小企業の景況感の調査です。取引先企業から製造業450社、非製造業550社を選定し、「好転」、「不変」、「悪化」という形で景況判断の回答を得て、景況判断指数(当月と来月予測)を算出しています。同時に、売上高、販売・仕入れ価格、採算状況、資金繰り、製品在庫、生産設備、雇用状況の判断指数も発表しています。

ポイント1

8月の景況判断指数は4カ月ぶりに低下

ただし、9月の予測指数は6カ月ぶりに50ポイントを上回る

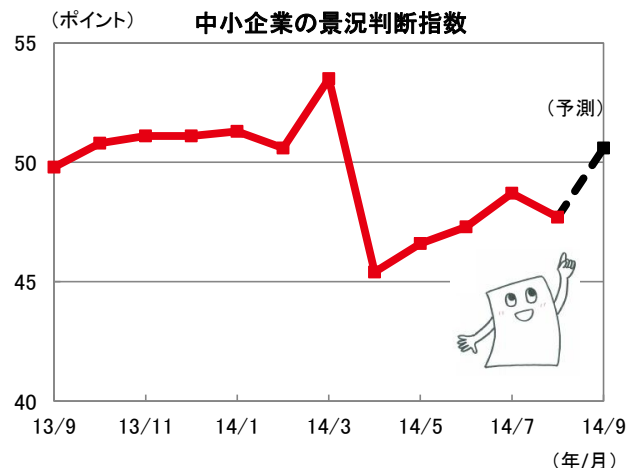
- 8月26日に発表された「8月の景況判断指数」は、前月比▲1.0ポイントの47.7ポイントと4カ月ぶりに低下しました。消費税増税の影響で4月に45.4ポイントと大幅に低下したあと回復基調となっていました。持ち直しの一服感が出ました。
- ただし、9月の予測指数は同+3.9ポイントの50.6ポイントと6カ月ぶりに、景況判断の好悪の境目である50ポイントを上回る見通しとなっており、先行きに対しては改善を見込んでいます。

ポイント2

個別の事業項目は改善傾向

売上高は加速する見通し

- 個別の事業項目を見ると、販売価格の上昇幅が拡大する一方、仕入価格の上昇幅が縮小し、採算状況は改善しました。また製品在庫の過剰感も薄れ、資金繰りの状況も改善傾向となり、個別の項目は改善しています。
- また、売上高の前年同月比を見ると、6月の+3.3%に対して、7月は+1.0%と伸びは鈍化しましたが、8月の実績見込みは+3.4%、9月の予測は+3.7%と伸びが加速する見通しです。7月の売上高の伸びが鈍化したことが、8月の景況感低下に影響したと思われます。



(注) データは2013年9月～2014年9月。2014年9月は予測値。
(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

消費税増税の影響を脱し、年後半の景気回復に期待

■個人消費の回復はやや遅れ

7月の売上高はスーパーが前年同月比▲2.1%、コンビニが同▲0.7%といずれも4カ月連続で減少するなど、消費税増税後の回復にはやや遅れが見られます。ただし、減少幅は縮小しており、今後の回復が期待されます。

■雇用環境改善の波及効果に期待

売上高の見通しには明るさが見えることから、8月の景況感の低下は一時的に留まると思われます。主要な経済指標に力強い回復感はまだ見られないものの、雇用環境は改善していることなどから、年後半の景気回復に期待したいところです。

ここも チェック!

2014年08月19日【キーワード No.1,395】レジャー白書(日本)

2014年08月14日【キーワード No.1,392】日本のGDP成長率(日本)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。